

# 治安等に関するアンケート結果

平成20年3月

鹿児島県警察本部 

### 1 調査目的

治安等に関する県民の意識を調査することにより、「安全に安心して暮らせる鹿児島島の創造」に向けた警察行政を推進する上での基礎資料とするため。

### 2 調査項目

- (1) 鹿児島島の治安について
- (2) 犯罪に関する情報について
- (3) 安全で安心なまちづくりについて
- (4) 子どもの安全対策について
- (5) 交番・駐在所について
- (6) 交番相談員について
- (7) 警察安全相談について

### 3 調査対象

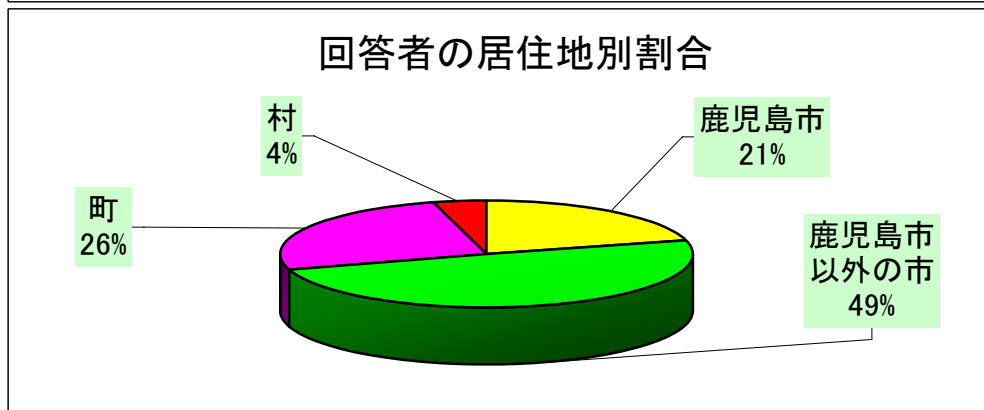
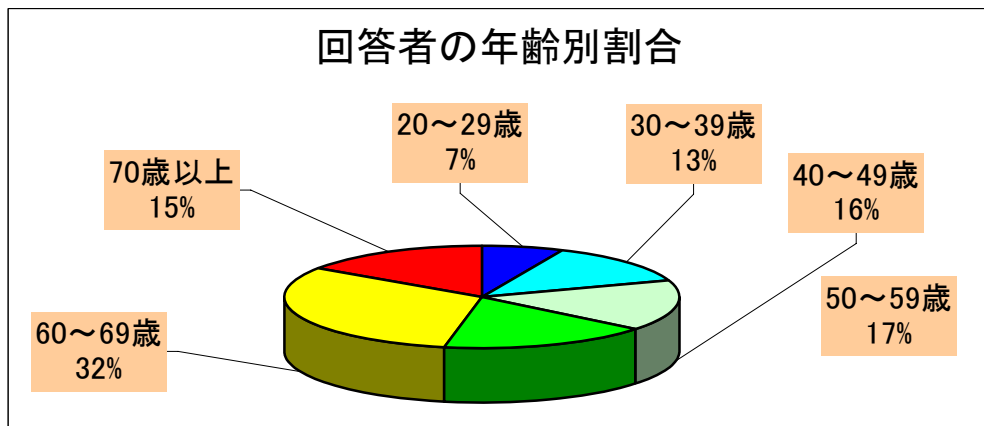
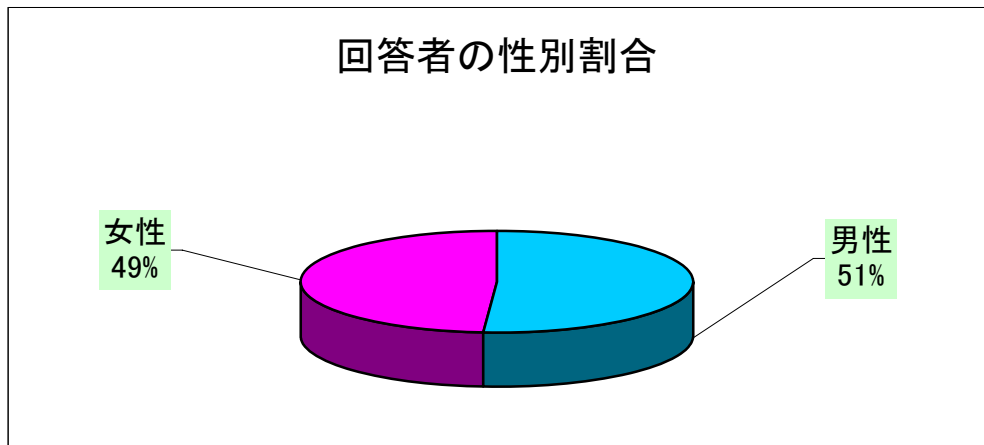
県政モニター 200人

### 4 調査時期

平成20年1月 7日～1月 28日(22日間)

### 5 回答結果

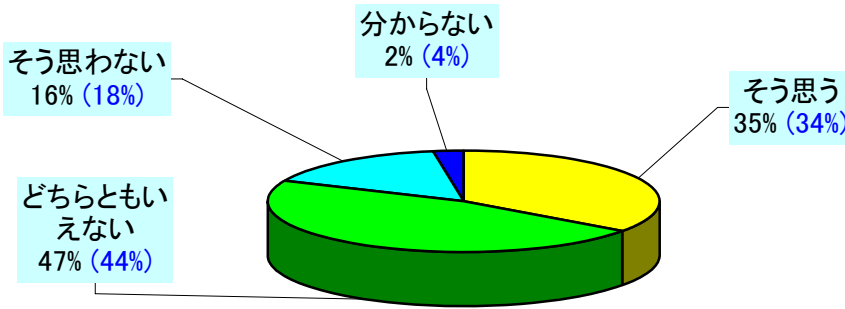
- (1) 回答者 168人(男性 86人, 女性 82人)
- (2) 回答率 84%



# 1 鹿児島県の治安について

※( )は、前回アンケート結果(平成19年3月実施)

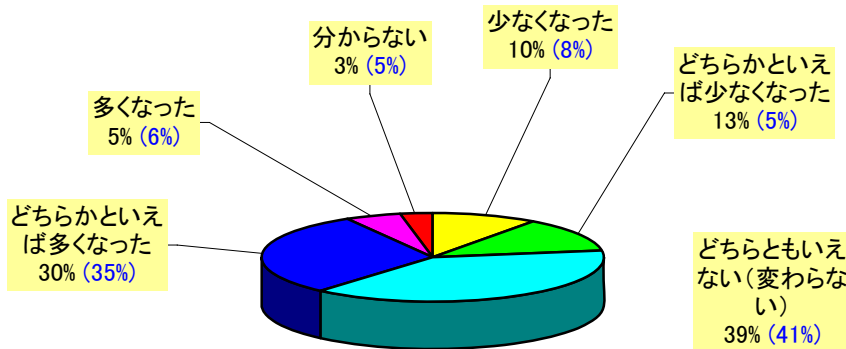
Q1 あなたは、現在の鹿児島県が、治安が良く、安全で安心して暮らせる県だと思いますか。



Q1

「現在の鹿児島県が、治安が良く、安全で安心して暮らせる県であると思う」と回答した方は、35%であり、前回の調査時より1ポイント増加、「どちらともいえない」と回答した方が、47%と前回の調査時より3ポイント増加し、他方「そう思わない」と回答した方が、16%と前回の調査時より2ポイント減少した。

Q2 あなたのお住まいの地域で、ここ1年間で、自分や身近な人が犯罪に遭うかもしれないと不安になることが少なくなったと思いますか、それとも多くなったと思いますか。

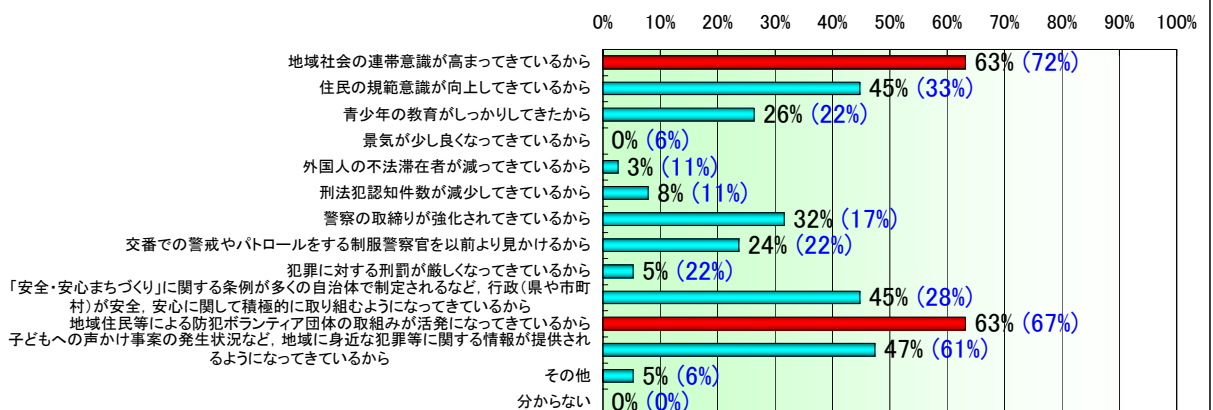


Q2

「あなたのお住まいの地域で、ここ1年間で、自分や身近な人が犯罪に遭うかもしれないと不安になること」について、「少なくなった」又は「どちらかといえば少なくなった」と回答した方が23%であり、前回の調査時より10ポイント増加し、「多くなった」又は「どちらかといえば多くなった」と回答した方は35%で、前回の調査時より6ポイント減少した。

SQ1 不安になることが少なくなった原因は何だと思いますか。(複数回答)

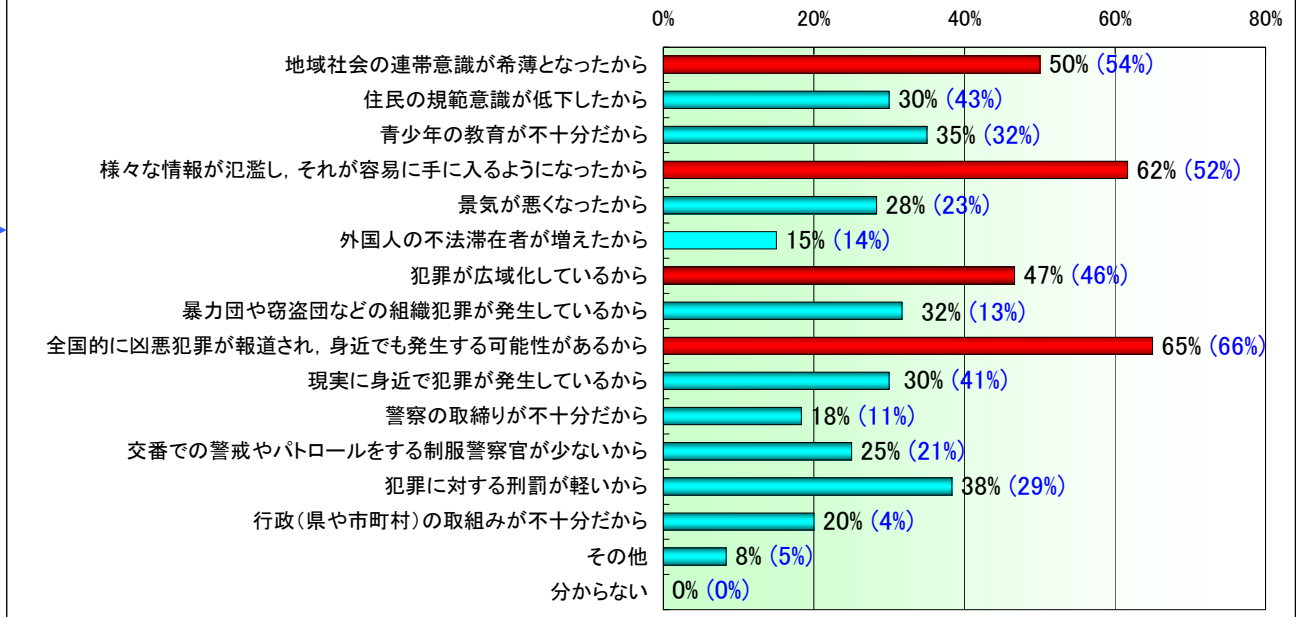
[Q2で「少なくなった」又は「どちらかといえば少なくなった」と回答した方への更問]



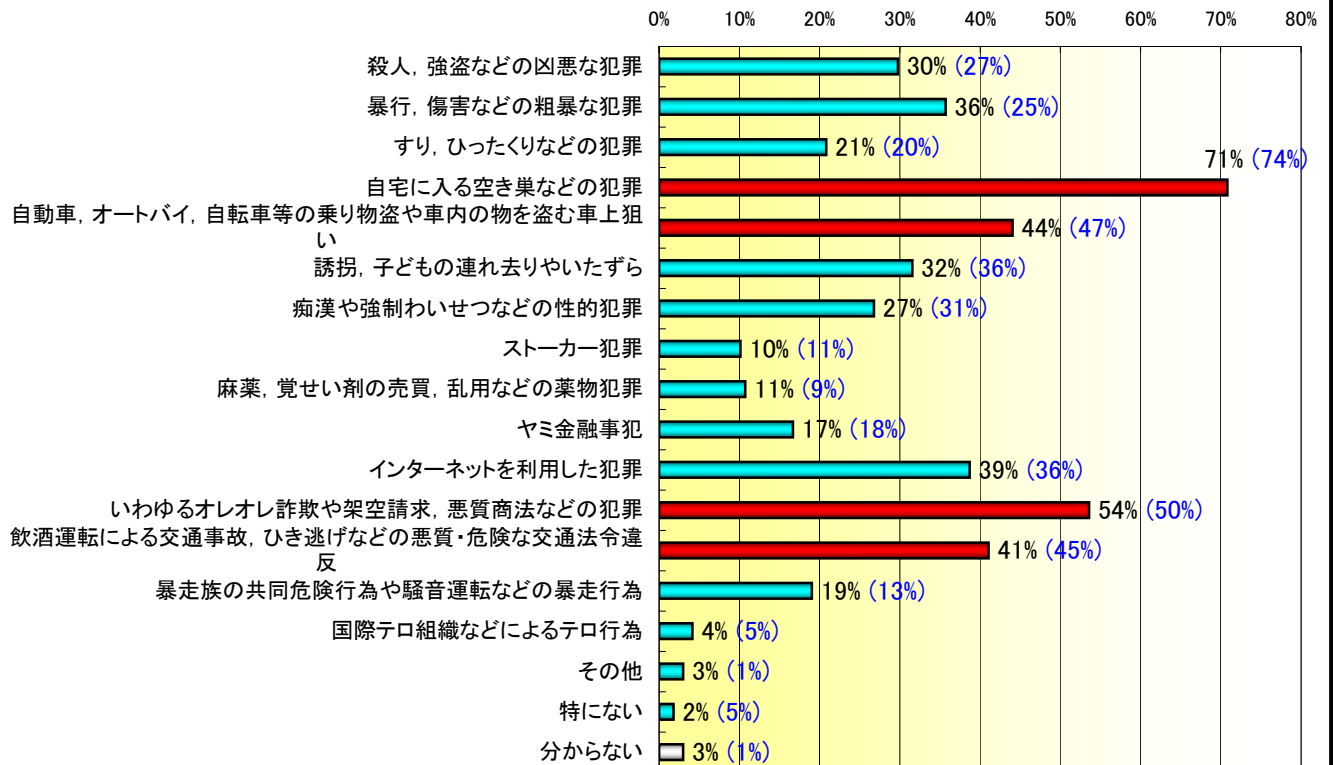
SQ1 ここ1年間の犯罪への不安について「少なくなった」又は「どちらかといえば少なくなった」と回答した方の多くが、その理由について「地域社会の連帯意識が高まってきているから」、「地域住民等による防犯ボランティア団体の取組みが活発になってきているから」と回答している。

### SQ2 不安になることが多くなった原因は何だと思いますか。(複数回答)

[Q2で「どちらかといえば多くなった」又は「多くなった」と回答した方への更問]



### Q3 あなたが、自分や身近な人が犯罪に遭うかもしれないと不安になる犯罪は何ですか。(複数回答)

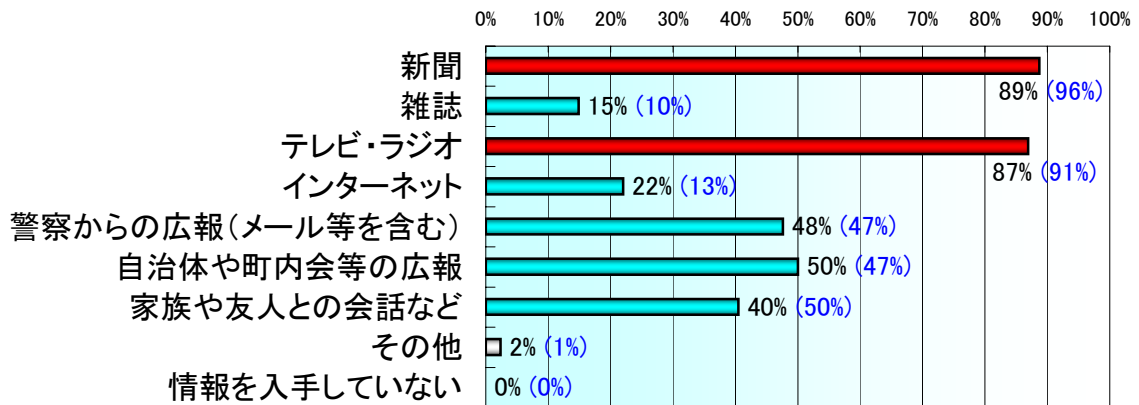


#### Q3

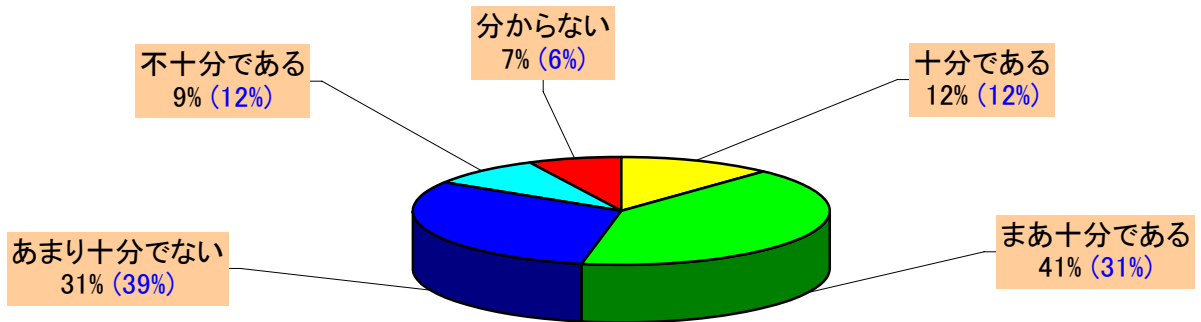
自分や身近な人が、犯罪に遭うかもしれないと不安になる犯罪について、多くの方が「自宅に入る空き巣などの犯罪」、「いわゆるオレオレ詐欺や架空請求、悪質商法などの犯罪」、「自動車、オートバイ、自転車等の乗り物盗や車内の物を盗む車上狙い」、「飲酒運転による交通事故、ひき逃げなどの悪質・危険な交通法令違反」と回答している。

## 2 犯罪に関する情報について

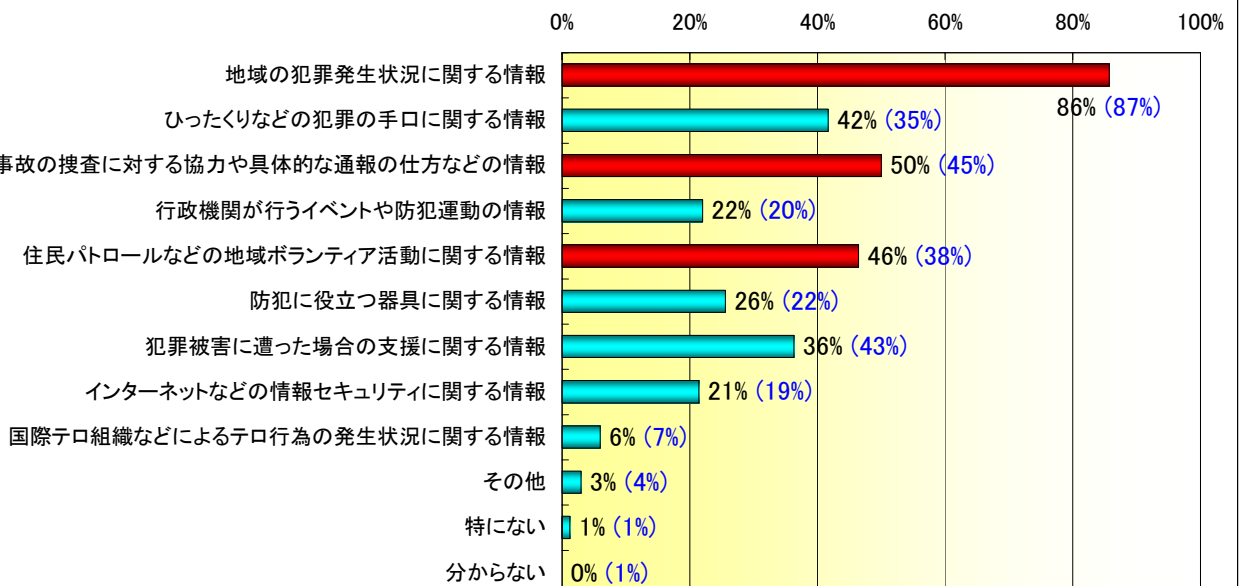
Q4 あなたは、どのような方法で治安や犯罪に関する情報を入手していますか。(複数回答)



Q5 あなたは、警察や自治体からの治安や犯罪に関する情報提供は十分であると思いますか。



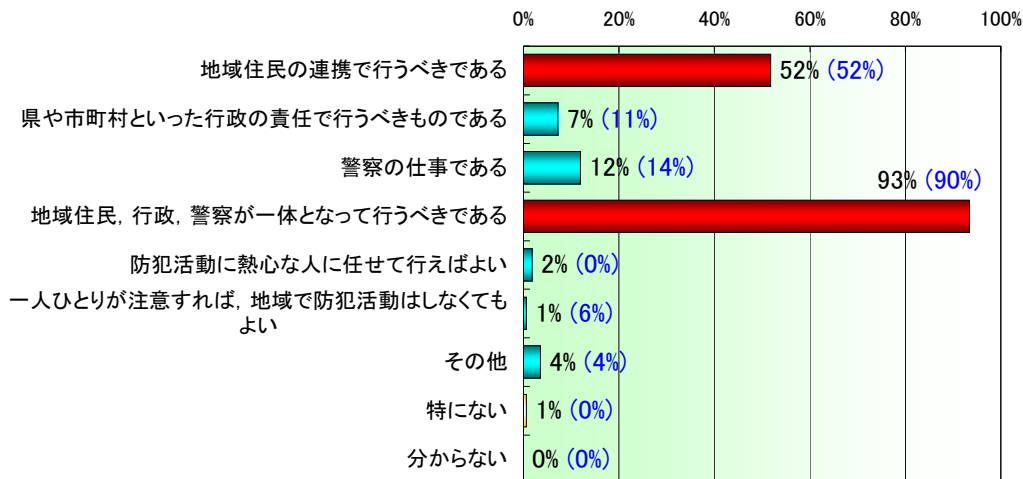
Q6 あなたは、治安や犯罪に関する情報として、どのようなものが提供されたらよいと思いますか。(複数回答)



Q5,Q6 警察や自治体からの情報提供について「十分である」又は「まあ十分である」と回答した方は53%で、前回の調査時より10ポイント増加しているものの、40%の方が「不十分である」又は「あまり十分でない」と回答しており、求めている情報については、86%の方が「地域の犯罪発生状況に関する情報」と回答している。

### 3 安全で安心なまちづくりについて

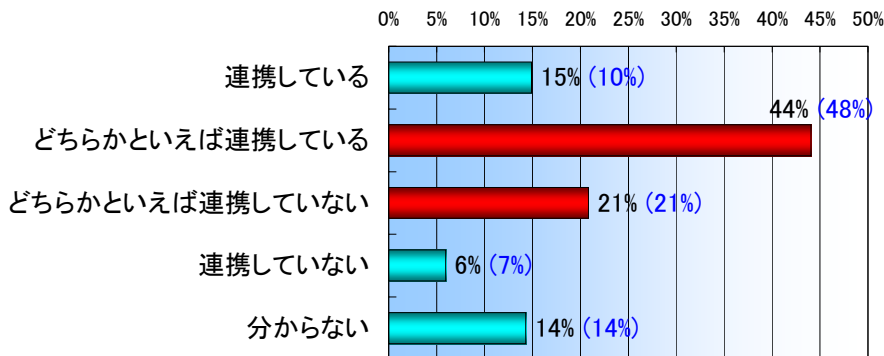
Q7 安全で安心なまちづくりを行うために、あなたの考え方に近いものはどれですか。(2つまで回答)



Q7

安全で安心なまちづくりを行うための考え方について、93%の方が「地域住民、行政、警察が一体となって行うべきである」と回答し、52%の方が「地域住民の連携で行うべきである」と回答している。

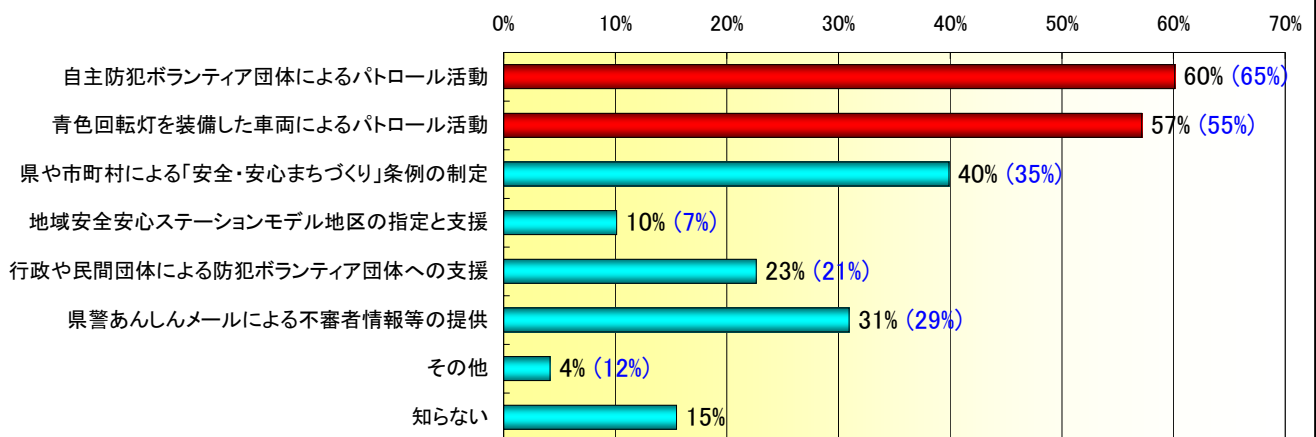
Q8 あなたのお住まいの地域では、安全で安心なまちづくりのために、住民、行政、警察が協力して助け合うなど、連携して取り組んでいると思いますか。



Q8

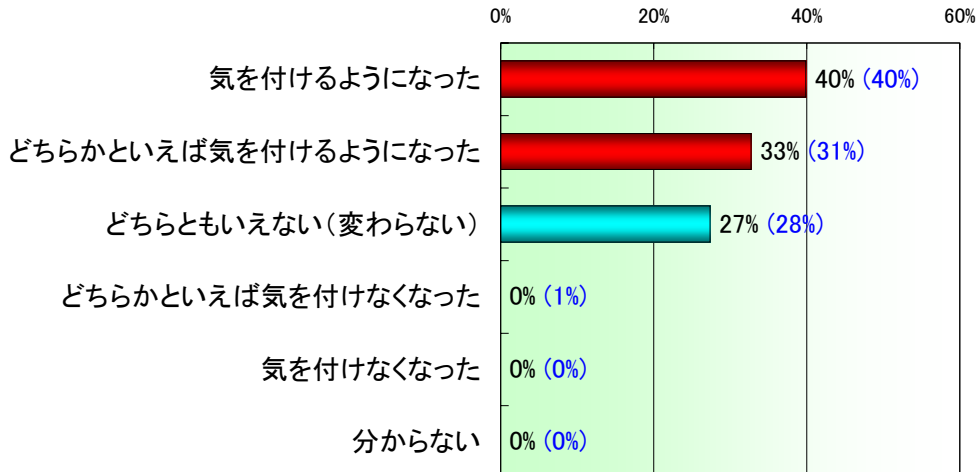
住民、行政、警察の連携について、59%の方が「連携している」又は「どちらかといえば連携している」と回答している一方、27%の方が「連携していない」又は「どちらかといえば連携していない」と回答している。

Q9 あなたは、安全で安心なまちづくりのために行われている活動について知っていますか。(複数回答)



Q9 安全で安心なまちづくりのために行われている活動について、60%の方が「自主防犯ボランティア団体によるパトロール活動」を、57%の方が「青色回転灯を装備した車両によるパトロール活動」を知っていると回答している。

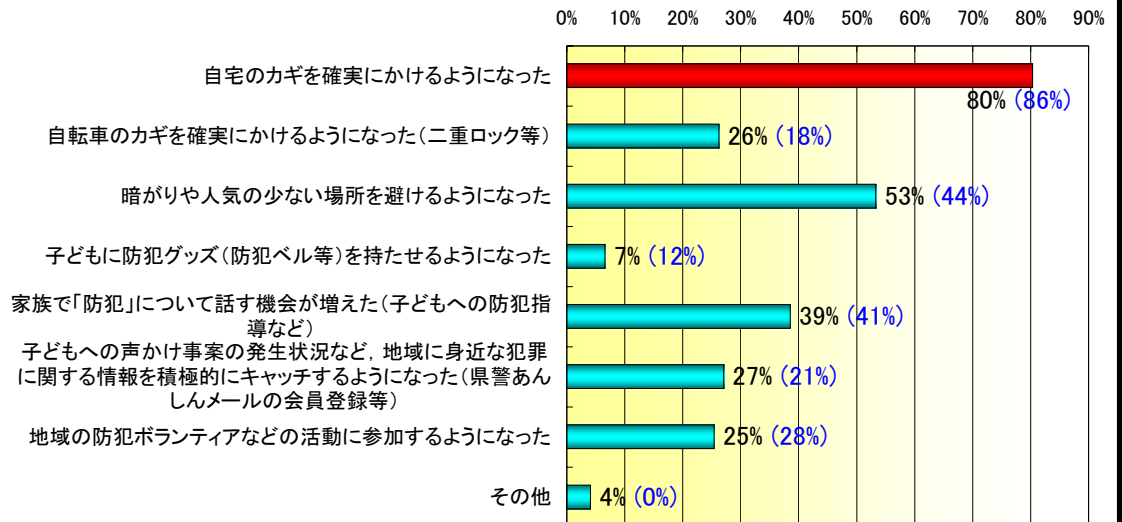
Q10 あなたは、ここ1年間で「防犯」ということに気を付けるようになりましたか。



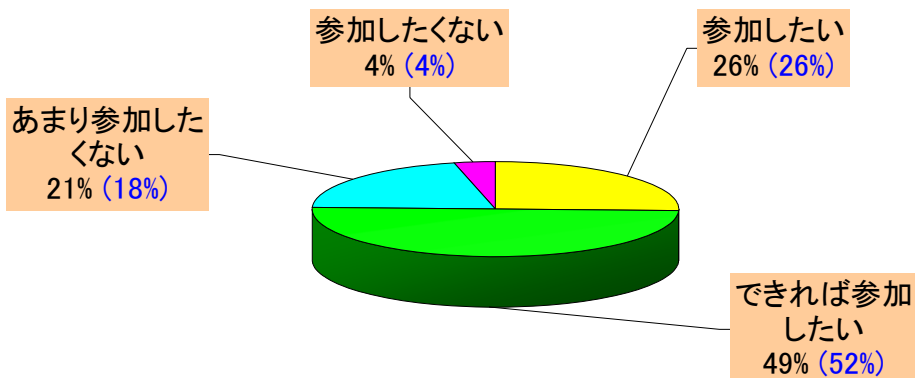
Q10, SQ1  
73%の方が、ここ1年間で防犯ということに「気を付けるようになった」又は「どちらかといえば気を付けるようになった」と回答している。  
また、気を付けるようになった点としては、80%の方が「自宅のカギを確実にかけるようになった」と回答している。

SQ1 どのような点に気を付けるようになりましたか。(複数回答)

[Q10で「気を付けるようになった」又は「どちらかといえば気を付けるようになった」と回答した方への更問]

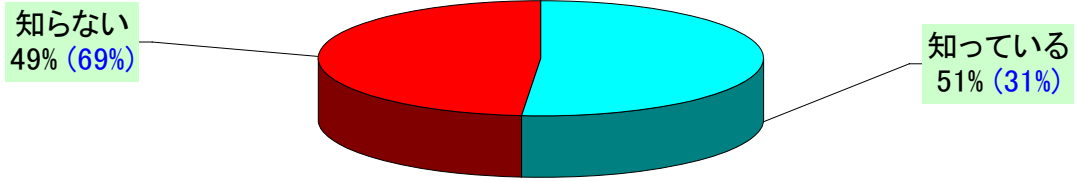


Q11 あなたは、地域住民によるパトロールなどの防犯ボランティア活動に参加したいと思いますか。



Q11  
防犯ボランティア活動への参加について「参加したい」又は「できれば参加したい」と回答した方が75%で、前回の調査時より3ポイント減少している。

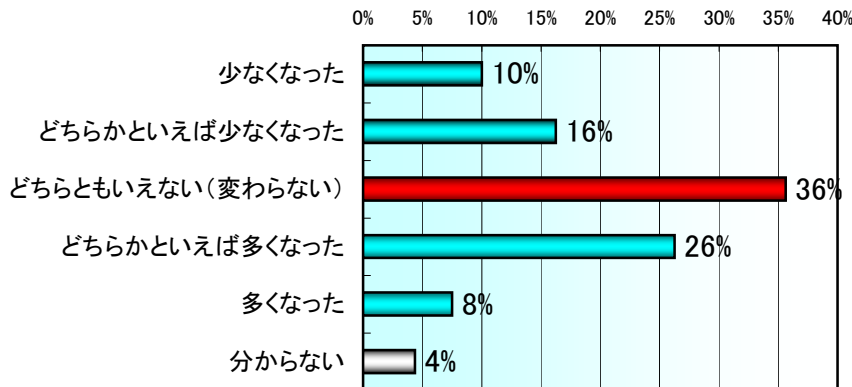
Q12 鹿児島県警では、平成17年4月以降、「地域社会との連帯」を基本理念とする「あんしん・かごしま」創造プログラムに基づき、「情報発信・共有機能の強化」、「青色防犯パトロールの活動への支援」等、地域住民や自治体、関係機関・団体、ボランティア等の方々との連携・協働による様々な活動を行っています。あなたは、この取組みについて知っていますか。



#### 4 子どもの安全対策について

Q13 ここ1年間で、あなたのお住まいの地域の子どもたちが、犯罪被害に遭うかもしれないと不安になることが少なくなったと思いますか、それとも多くなったと思いますか。

※ 今回、新たに設けた調査項目

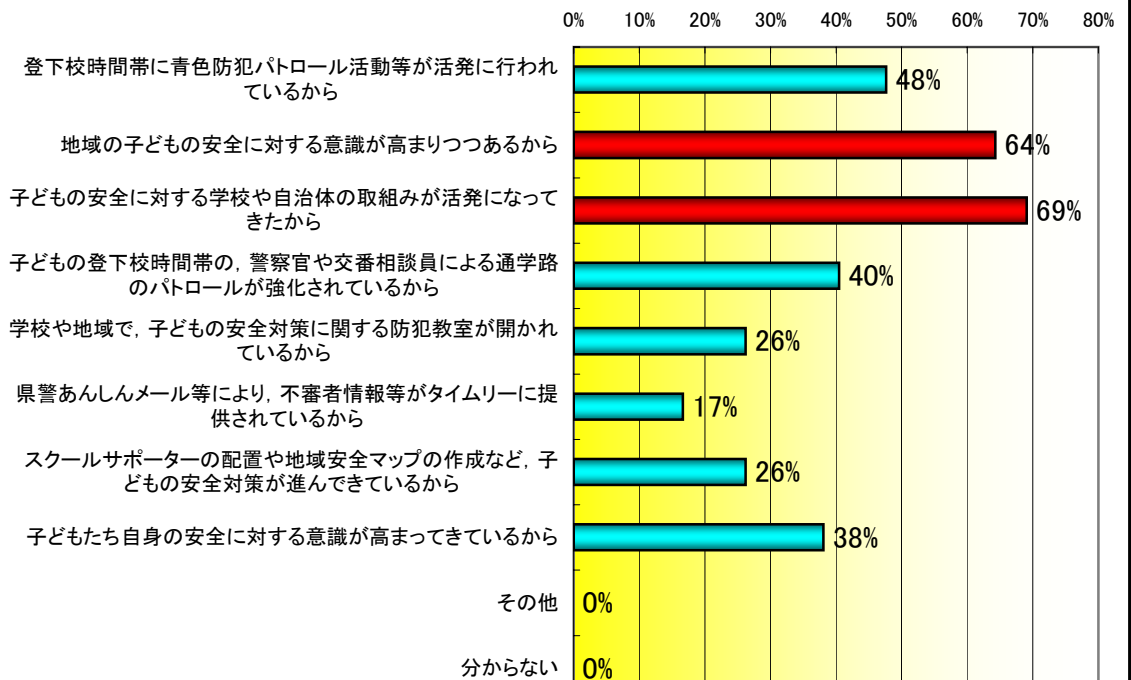


Q13

「ここ1年間で、あなたのお住まいの地域の子どもたちが、犯罪被害に遭うかもしれないと不安になること」について、26%の方が「少なくなった」又は「どちらかといえば少なくなった」と回答している一方、34%の方が「多くなった」又は「どちらかといえば多くなった」と回答している。

SQ1 少なくなった原因は何だと思えますか。

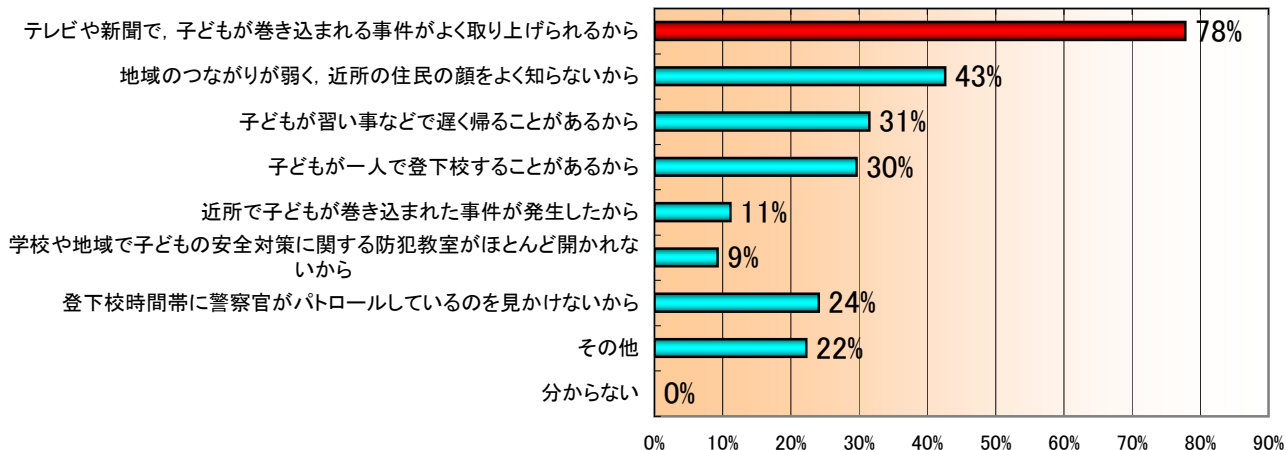
〔Q13で「少なくなった」又は「どちらかといえば少なくなった」と答えた方への更問〕



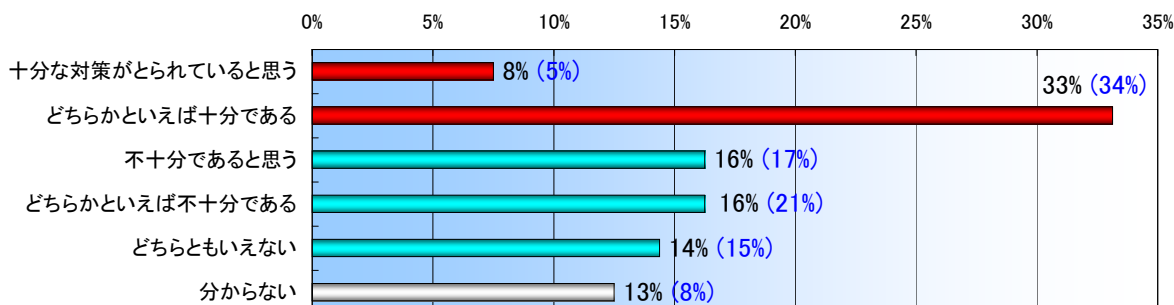


## SQ2 多くなった原因は何だと思いますか。

【Q13で「多くなった」又は「どちらかといえば多くなった」と答えた方への更問】

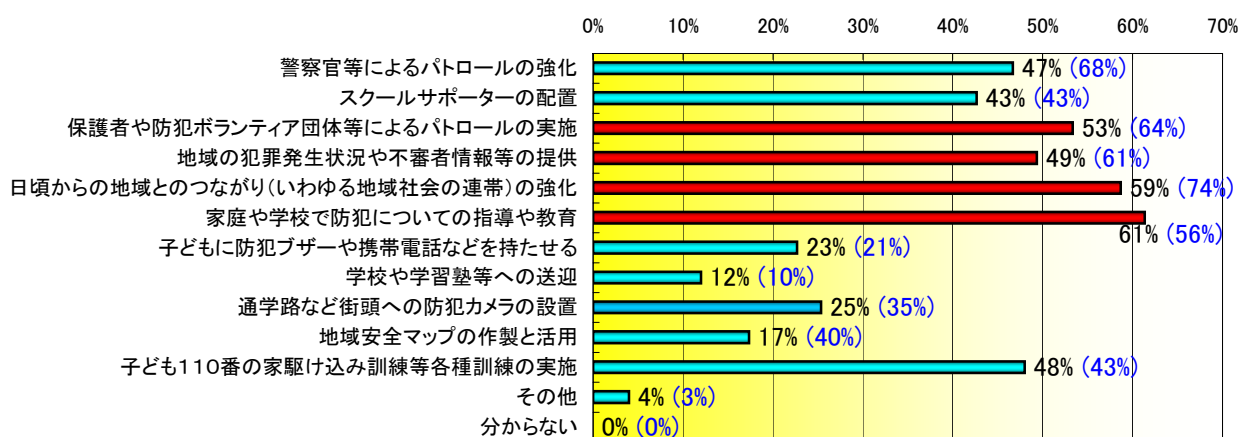


## Q14 あなたは、子どもの安全対策についてどう思いますか。



## SQ1 子どもの安全対策には何が必要だと思われますか。(複数回答)

【Q14で「不十分であると思う」又は「どちらかといえば不十分である」又は「どちらともいえない」と回答した方への更問】



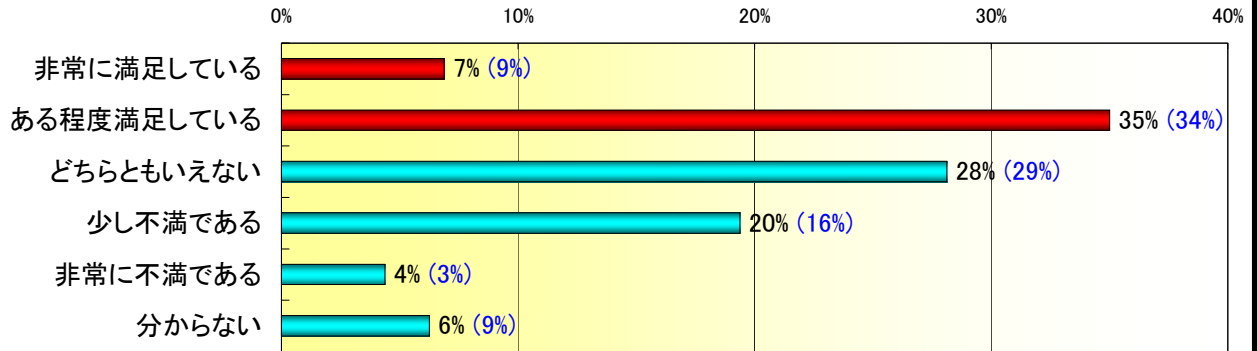
### Q14, SQ1

子どもの安全対策について、41%の方が「十分な対策がとられていると思う」又は「どちらかといえば十分である」と回答している一方、32%の方が「不十分である」又は「どちらかといえば不十分である」と回答している。

また、必要とする子どもの安全対策について、「家庭や学校で防犯についての指導や教育」、「日頃からの地域とのつながり(いわゆる地域社会の連帯)の強化」、「保護者や防犯ボランティア団体等によるパトロールの実施」、「地域の犯罪発生状況や不審者情報等の提供」と回答している。

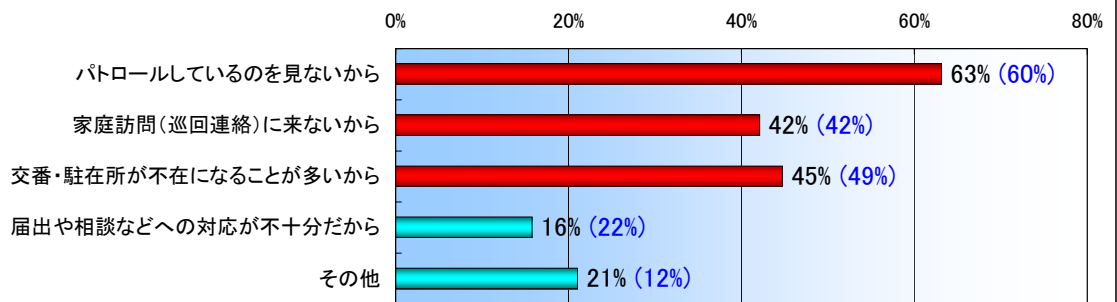
## 5 交番・駐在所について

Q15 あなたは、近くの交番・駐在所の警察官の活動について、満足していますか。



SQ1 不満である理由は何ですか。(複数回答)

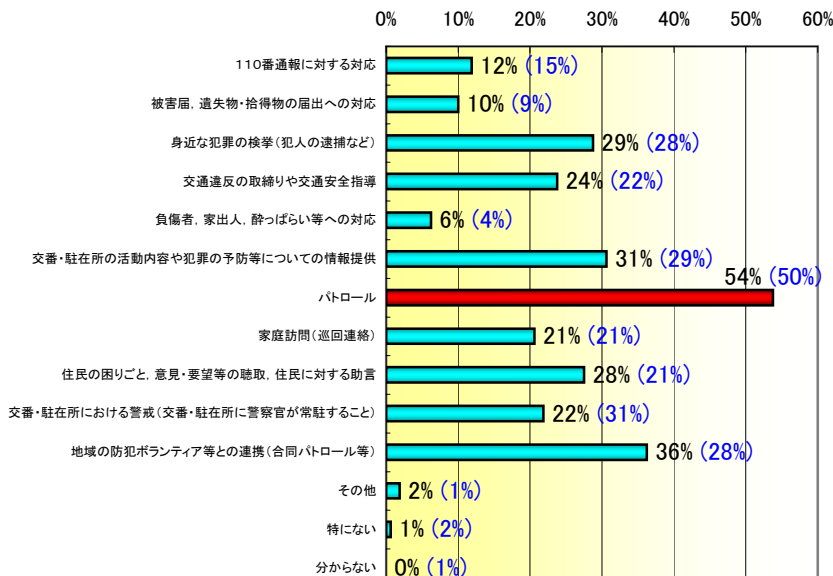
〔Q15で「少し不満である」又は「非常に不満である」と回答した方への更問〕



Q15, SQ1

近くの交番・駐在所の警察官の活動について、42%の方が「非常に満足している」又は「ある程度満足している」と回答している一方、24%の方が「少し不満である」又は「非常に不満である」と回答しており、その理由として多くの方が「パトロールしているのを見ないから」、「交番・駐在所が不在になることが多いから」、「家庭訪問(巡回連絡)に来ないから」と回答している。

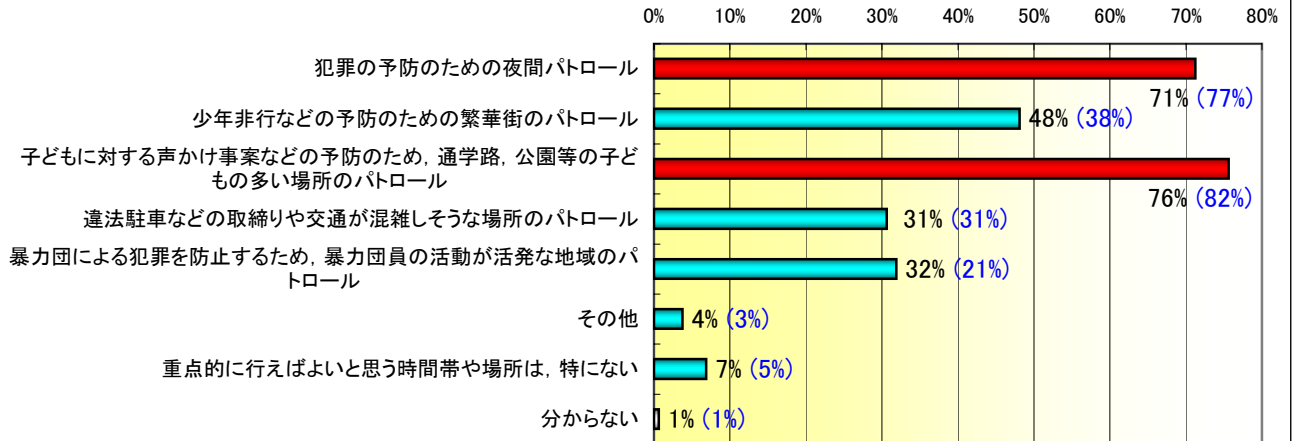
Q16 あなたは、今後、交番・駐在所の警察官にどのような活動を特に強化してほしいと思いますか。(3つまで回答)



Q16

警察に特に強化してほしい活動について、54%の方が「パトロール」と回答し、その他「地域の防犯ボランティア等との連携(合同パトロール等)」、「交番・駐在所の活動内容や犯罪の予防等についての情報提供」、「身近な犯罪の検挙(犯人の逮捕など)」、「住民の困りごと、意見・要望等の聴取、住民に対する助言」と回答している。

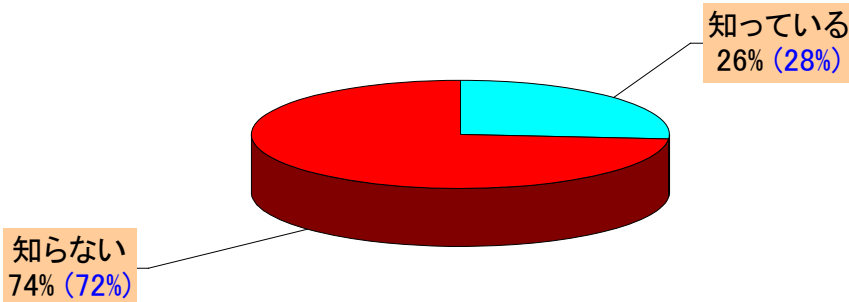
Q17 あなたは、警察官がパトロールを行う際、どのような時間帯や場所を重点的に行えばよいと思いますか。(複数回答)



Q17 警察官がパトロールを行う際の時間帯や場所について、多くの方が「子どもの多い場所のパトロール」及び「夜間パトロール」と回答している。

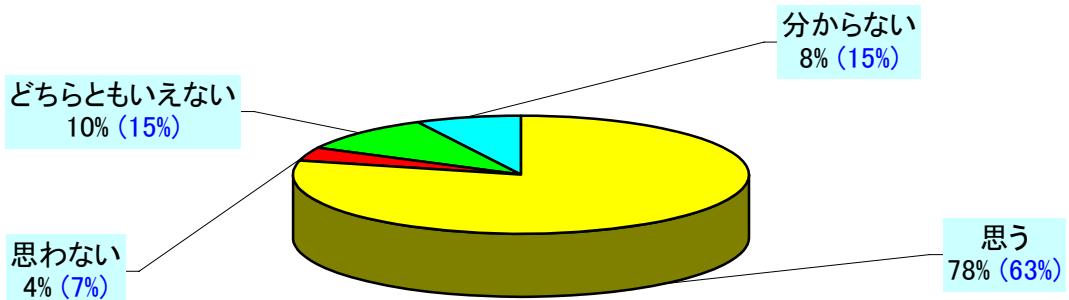
## 6 交番相談員について

Q18 警察官が、パトロールなどで交番にいないときでも、交番を訪れた住民に対応することができるように交番相談員を交番に配置しています。あなたは、交番相談員が配置されていることを知っていますか。



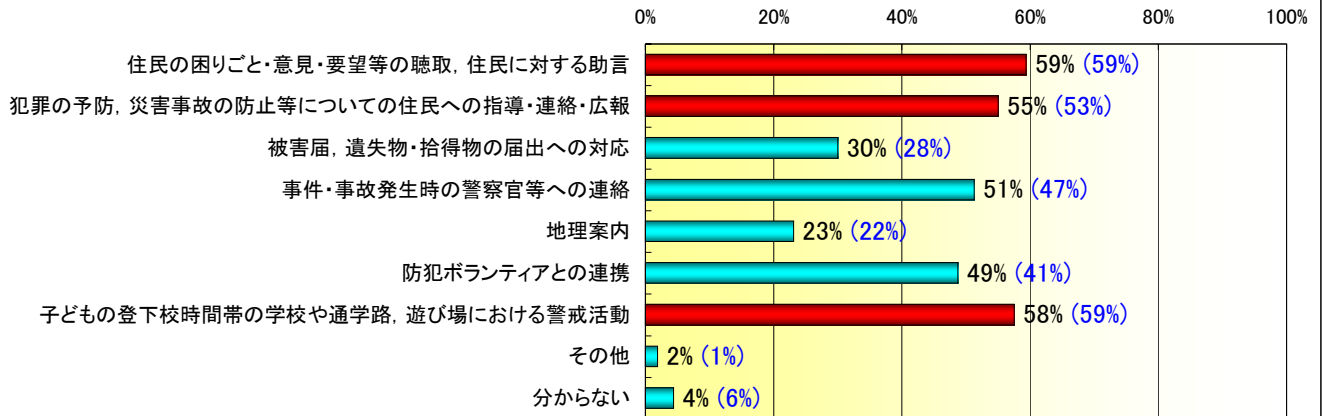
Q18 交番相談員が配置されていることについて、26%の方が「知っている」と回答している一方、74%の方が、「知らない」と回答している。

Q19 あなたは、交番相談員が交番にいることは住民へのサービスにつながっていると思いますか。



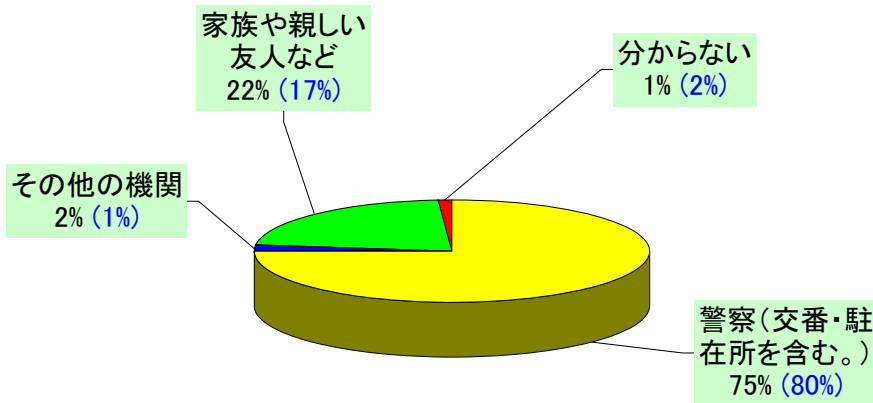
Q19 交番相談員の配置について、78%の方が、住民へのサービスにつながっていると「思う」と回答し、前回の調査時より15ポイント増加している。

Q20 あなたは、今後、交番相談員にどのような活動を強化してほしいと思いますか。(複数回答)



## 7 警察安全相談について

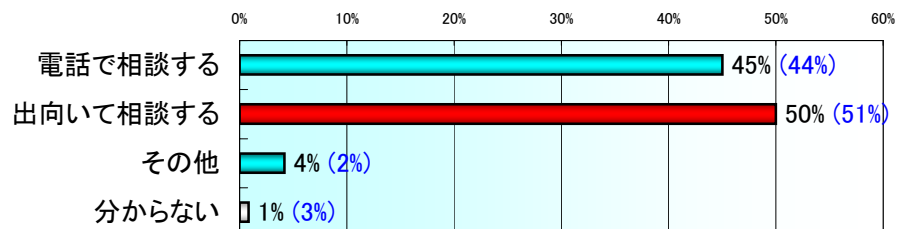
Q21 あなたは、身の回りで犯罪等の被害に遭うかもしれない不安なことが起きたら、どこに相談しますか。



Q21, SQ2

身の回りで犯罪等の被害に遭うかもしれない不安なことが起きたときの相談先について、75%の方が、「警察」と回答し、うち51%の方が「相談を受ける体制を拡充してほしい」と回答している。

SQ1 あなたは、警察に相談するとしたら、電話で相談しますか、出向いて相談しますか。【Q21で警察(交番・駐在所を含む)と回答した方への更問】



SQ2 あなたは、警察署における相談を受ける体制は、今のままでよいと思いますか。【Q21で警察(交番・駐在所を含む)と回答した方への更問】

